

# Conservation of Cultural Heritage in East and Southeast Asia

# 東アジア・東南アジアの文化財の保存修復

文化財保存修復学会創立75周年記念国際シンポジウム



平成20年度文部科学省科学研究費補助金研究成果公開促進費研究成果公開発表会(C)

主催:文化財保存修復学会

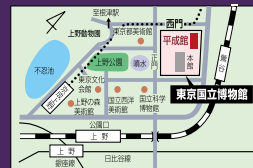
共催:東京国立博物館

後援:文化庁 九州国立博物館 東京文化財研究所 奈良文化財研究所 読売新聞社 日本文化財科学会 東アジア文化遺産保存学会  
 東南アジア考古学会 日本考古学協会 (社)日本建築学会 建築修復学会 日本博物館協会 全日本博物館学会 (独)国際交流  
 基金 (社)日本ユネスコ協会連盟 (財)ユネスコ・アジア文化センター 文化遺産国際協力コンソーシアム 日本イコモス国内委  
 員会 国宝修理装演師連盟 NPO法人文化財保存支援機構 NPO法人文化財夢工房 (申請中を含む)

2008年9月27日(土)・9月28日(日)  
 東京国立博物館・平成館大講堂

一般参加定員  
**350名**  
 申込順  
 入場無料

使用言語:日本語 / 英語<同時通訳あり>



シンポジウム当日は東京国立博物館 西1よりお入り下さい。  
 交通:JR上野駅公園口、または豊谷駅下車 徒歩10分  
 東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅  
 東京メトロ千代田線 根津駅下車 徒歩15分  
 京成電鉄京成上野駅下車 徒歩15分

9月27日(土)

- 10:00~10:05 **開会挨拶** 企画実行委員長
- 10:05~10:45 **基調講演「アジアの文化財を護るために」** 三輪嘉六(九州国立博物館長)
- 10:45~11:30 **特別講演「文化遺産の保護をめぐるアジアの動向」** 佐藤新一(東京国立博物館長)
- 11:30~12:40 **セッション① 「東アジアの文化財を護る(1)」**
- 1.中国における文化財保存の現状と課題 杜曉帆(ユネスコ北京事務所)
  - 2.韓国における文化財の保存とその問題点 李午憲(韓国伝統文化学術)
- 14:00~15:30 **セッション② 「東アジアの文化財を護る(2)」**
- 1.台湾における文化財保存の現状と課題 李麗芳(台湾行政院文化建設委員会)
  - 2.東アジアにおける文化財保存国際交流 沢田正昭(国士館大学)
- セッション①、②の質疑応答
- 15:45~17:15 **セッション③ 「東南アジアの文化財を護る(1)」**
- 1.東南アジアにおける文化財保存国際交流 リチャード・エンゲルハルト(ユネスコバンコク事務所)
  - 2.インドネシアにおける文化財保存の現状と課題 ソエロン(インドネシア考古局長)
- セッション③の質疑応答



9月28日(日)

- 10:00~11:45 **セッション④ 「東南アジアの文化財を護る(2)」**
- 1.ベトナムにおける文化財保存の現状と課題 グェン・コック・フン(ベトナム文化情報省文化遺産局次長)
  - 2.タイにおける文化財保存の現状と課題 チラポーン・アランヤナー(タイ文化省芸術局保存科学部長)
  - 3.カンボジアにおける文化財保存の現状と課題 ロス・ボラット(アンコール・シェムリアップ地域保護管理機構次長)
- 13:00~15:10 **セッション⑤ 「東南アジアの文化財を護る(3)」**
- 1.ラオスにおける文化財保存の現状と課題 トンサ・サヤボンヌハムディ(ラオス文化情報省博物館考古局長)
  - 2.マレーシアにおける文化財保存の現状と課題 ヤハヤ・アーマド(マレーシア文化省遺産局長)
  - 3.フィリピンにおける文化財保存の現状と課題 エメリータ・アルモサラ(フィリピン歴史研究所副所長)
- セッション④、⑤の質疑応答
- 15:25~16:55 **セッション⑥ 「パネルディスカッション」**  
**東アジア、東南アジアの文化財の保存:国際協力に向けて**  
**モデレーター:西浦忠輝(国士館大学)**  
**パネリスト:沢田正昭、李午憲、杜曉帆、リチャード・エンゲルハルト、トンサ・サヤボンヌハムディ、チラポーン・アランヤナー**
- 16:55~17:00 **閉会挨拶** 主催機関代表



\*プログラムは都合により一部変更になることがあります。

【企画実行委員会】 委員長:西浦 忠輝 委員:井上 洋一・宇田川 滋正・神庭 信幸・沢田 正昭・清水 真一・本田 光子・松田 泰典・村上 隆  
 補佐委員:和田 浩・岩田 玲子

【開催趣旨】

文化財は人類の文化活動を具体的に示すもので、人類の歴史を物語る証であり、人類共通の財産として国家、民族を超えてその保護に当たらなければなりません。

アジア、中でも東アジア、東南アジアは、歴史的・文化的背景、気象環境、材質、伝統技術など、日本とは多くの共通点があります。近年の東アジア、東南アジア地域における経済発展とグローバル化によって、伝統文化が失われ、また貴重な文化財が開発によって危機にさらされています。

そこで、アジアの文化財の保護の大切さを考える機会として、その保存修復についての公開国際シンポジウムを開催するものです。このシンポジウムでは、多くの調査研究成果を公開し、種々の問題点を提示して、多くの人々に、これは人類共通の問題であり、一致協力してその解決に向けて努力すべきとの認識を持っていただくことを趣旨とするものです。

シンポジウム専用ホームページ

<http://www.kuba.co.jp/CCH/>

【参加申込方法】 ホームページ上の申し込みフォームを利用、または、①参加者氏名 ②郵便番号・住所(自宅または勤務先どちらかを明記してください) ③電話番号 ④職業 ⑤E-mailアドレス(お持ちの方) ⑥今後のシンポジウム案内希望の有無、をご記入のうえ、E-mail、はがき、またはFAXにて、下記事務局までお申し込みください。ご不明な点がございましたら事務局までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 株式会社クバプロ内 シンポジウム事務局 〒102-0072 千代田区飯田橋3-11-15 UEDAビル6階 TEL:03-3238-1689 FAX:03-3238-1837  
 E-mail: symposium@kuba.jp